



## 分科会5 充実させよう、薬剤師の生涯学習 —応えられる薬剤師となるために—

### W-05-02 生涯学習システムの構築に向けて

かみむら なおき  
上村 直樹

(社)日本薬剤師会生涯学習委員会 委員長

日本薬剤師会は平成21年4月に「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード」(以下PS)を公表した。これはこれまで提供されてきた多くの学習方法は、講義や講演を中心とした、どちらかと言えば受身型の講習会や研修会が中心であり、比較的継続性に乏しいという声もある中、より実効性があり、意欲やモチベーションを維持・高揚する生涯学習制度の構築には何が必要か、薬剤師とは何かをもう一度原点から見つめ直した結果、薬剤師が目指すべき目標を明確に示すことにあるとの考えに至り、その具体的指標として考案したものである。

PSは、薬剤師が生涯に亘って学習すべき以下の5つの領域に基づいて構成しており、それぞれの薬剤師の経験やこれまで習得してきた知識に応じ、当然具備すべき、また期待される知識・技能・態度を指標とする目標を、難易度で分類整理している。1. ヒューマニズム(倫理)、2. 医薬品の適正使用(安全性、経済性)、3. 地域住民の健康増進(薬物乱用防止、セルフメディケーション)、4. リスクマネジメント、5. 法律制度の遵守、しかしこれらの目標に向かって自己研鑽するためには、モチベーションが維持できるようなシステムの構築が不可欠である。そこで考えついたのがクリニカルラダー(以下CL)である。PSで自らの研修・学習の達成度を確認しつつ、5段階の学習到達度(レベル1~5)を示したCLを組み合わせることで、これまで積み重ねた経験も含め、総合的に自己評価をすることが可能となるとともに、より効果的でさらに現実的な学習や研修計画の立案が可能となり、次の段階へ進むための有効な方法となり得るはずである。自分の位置を知ることが主な目的であるが、さらに進めば自分の位置を知らせることも重要である。国民が良い薬剤師を選ぶ指標となり、最終的には国民から信頼される薬剤師となる近道でもある。人が発展するためには「競い合い」と「ルール(基準)」と「判定(評価)」が必要と言われている。適度な競争はモチベーションを刺激する。しかしそこには正しい基準と公平な評価が必要である。まさに基準がプロフェッショナルスタンダードであり、競い合いと評価のシステムがクリニカルラダーである。生涯学習は強制されるものではなく、必要と感じる人がおこなうものであるが、なるべく多くの薬剤師が参加できるシステムを日本薬剤師会の生涯学習委員会では構築中である。